第３５回中国ミニバスケットボール交歓大会（島根大会）

佐波男子ミニバスケットボール
コーチ　　丸山　高司

今回県決勝大会で敗れた後、中国大会にむけてのモチベーションも上がらず、過去中国大会で一度も決勝トーナメント出場もなく、盛り上がりに欠けたまま大会を迎えてしまいました。自分は、仕事のため予選リーグの一日しか行くことができなかったので今大会の指揮は全て内村コーチに託しました。長年一緒にやってきた二人ですので何の不安もありませんでした。かえって子どもたちがのびのびとプレイできたようでよかったかなと・・・。予選リーグこそ自分達のバスケットボールができずに苦しんで、辛うじて決勝トーナメント進出となりましたが、決勝トーナメントでは結果の点差以上の開きがあったように感じました。今年度からのゾーンディフェンスの禁止で一対一の強さの指導に重点をおいて指導してきましたが、それにこたえて子どもたちはしっかりと成長してくれました。

中国大会優勝は、子どもたちから我々指導者、また応援し続けてくれた父兄への大きなプレゼントでしたし、またこれで佐波ミニバスを選んで入部してくれた子どもたちへ少しは喜びをあげれたかなと思います。

今回の中国大会においてどうしても時間のやり繰りが出来ずコーチライセンスの問題で福田理事長、協会関係者の方々にお骨折りいただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。

今後は、部員も少なく存続さえ怪しいチーム事情ではありますが、今大会の結果を励みに子どもたちと一緒に頑張ってみようと思います。応援ありがとうございました。

第35回中国ミニバス交歓会(島根大会)に参加して

佐波男子ミニバスケットボール
キャプテン　河合瑠那

「多分優勝すると思うよ!!!」
父の言葉に僕は何となく答えていました。
僕たちは山口県代表として参加しました。県決勝大会では、自分たちのバスケットがうまく出来ず、悔しい負け方をしましたが、この中国大会では、必ず優勝すると心に決め大会に臨みました。
初めてのバスでの遠征で、見送る家族に頑張ってこいよと声をかけられ、絶対に勝ってくるぞという気持ちでバスに乗り込みました。
バスの中では緊張もほぐれて、みんなで楽しく島根に入りました。
開会式の会場、島根県立浜山体育館に入ってから、中国地区から勝ち上がってきた他チームと顔を合わせると、どこのチームも大きく強そうに見え、とても緊張しました。
大会二日目から試合がありました。予選リーグは緊張していたのか、今まで練習してきた事がうまく出来なかったけど、どちらも二点差で勝つことが出来ました。
大会三日目は丸山コーチが居ない分、キャプテンとしても、チームとしても、しっかり頑張らないといけないと思い、内村コーチの指示のもと、自分達はいつもと違って自然に声が出て、本当に優勝することが出来ました。
大きな大会での初めての優勝でとてもうれしかったです。チームメイトや、家族の喜ぶ顔が忘れられません。
優勝できたのも、いつも熱心に僕達を指導してくれたコーチ・保護者・卒団生のみなさんのおかげだと思っています。
六年生としての試合も残り少なくなりましたが、これからもこの経験を活かして、頑張っていきたいと思います。